

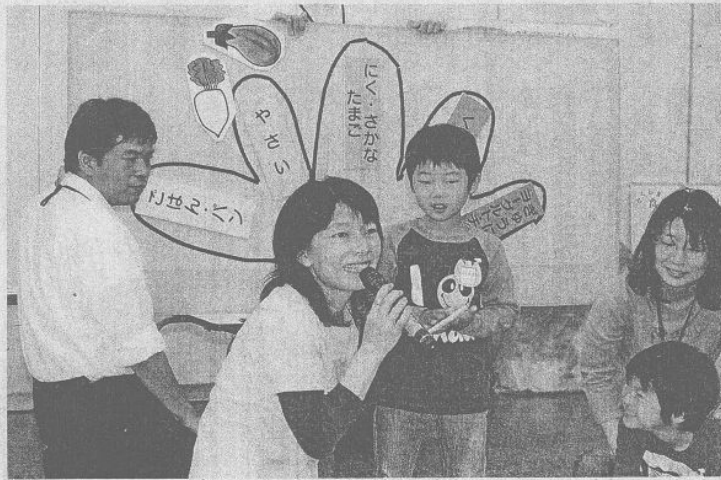
とくしま食育推進研究会

内閣府表彰を受賞

若い世代を対象とした食育活動の推進に取り組むボランティア団体などを表彰する内閣府の「食育推進ボランティア表彰」に、徳島

県の「とくしま食育推進研究会」が選ばれた。13日に島根県で行われる「第4回食育推進全国大会」で表彰される。

ダンスで学習 独自手法を評価



同研究会は2006年1月に活動を開始。野間智子代表(47)＝徳島市上八万町西山、管理栄養士＝や農政事務所職員、徳島大教員ら12人が、主に保育所や幼稚園で食育活動に取り組んでいる。活動の軸となるのは、独自に開発した食育プログラム「ホネホネダンス」と「手コマ式食育プログラム」。「ホネホネダンス」は、童謡「かえ

るのうた」のメロディーに合わせて体を動かしながら、カルシウムやビタミンなどの栄養素について学ぶことができる。「手コマ式」は、厚生労働省と農林水産省が作った「食事バランスガイド」を、より分かりやすく理解するための方法。1日にどんな食物をどれだけ食べたらいいか、子どもにも無理なく分かるように工夫されている。

こうした独特の方法による啓発や学びの手法の紹介、アンケートで集めた意見を取り入れて柔軟に活動内容を変更している。

こうした独特の方法による啓発や学びの手法の紹介、アンケートで集めた意見を取り入れて柔軟に活動内容を変更している。

パネルを使って子どもたちに食育の大切さを教える野間さん(左から2人目)＝徳島市内の富田幼稚園

く点などが評価され、受賞につながった。野間代表は「ありがたいこと。受賞を励みに、防につながる食育活動に一層力を入れたい」と喜んでいる。同表彰は、内閣府が09年度から始め、食育推進活動を3年以上行っているボランティア団体や個人が対象。全国から82の活動事例の推薦があり、10例が選ばれた。